



ダンゴムシさん... さようなら

お別れは突然やってきました...
いつものように、霧吹きで水分をあげていたところ...

あれ？動かない...一匹はからを被ったまま、2匹は丸くもならず...
「動かない...」と子供たち。悲しがっている子もいれば、不思議がっている子もいましたが、それぞれに生死に触れた時間でした。





「お墓に埋めてあげよう」ということになり、園庭で見つけたダンゴムシなので園庭の花壇に埋めてあげました。「また遊ぼうね!」そんな声をかけてくれたのかな?

残っているもう一匹が冬を越してくれればいいのですが、それも時間の問題なようです。たくさんの不思議を感じさせてくれたダンゴムシ…ありがとうございます!

